

2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム

青森県選手団表敬訪問

日時：令和5年12月20日（水）

16:00 ～ 16:20

場所：第三応接室

次 第

- 1 はじめ
- 2 青森県選手団紹介
- 3 宮下知事の激励の言葉
- 4 懇談
- 5 青森県選手団の抱負の言葉
- 6 記念撮影
- 7 おわり

2024年第8回スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム 青森県選手団

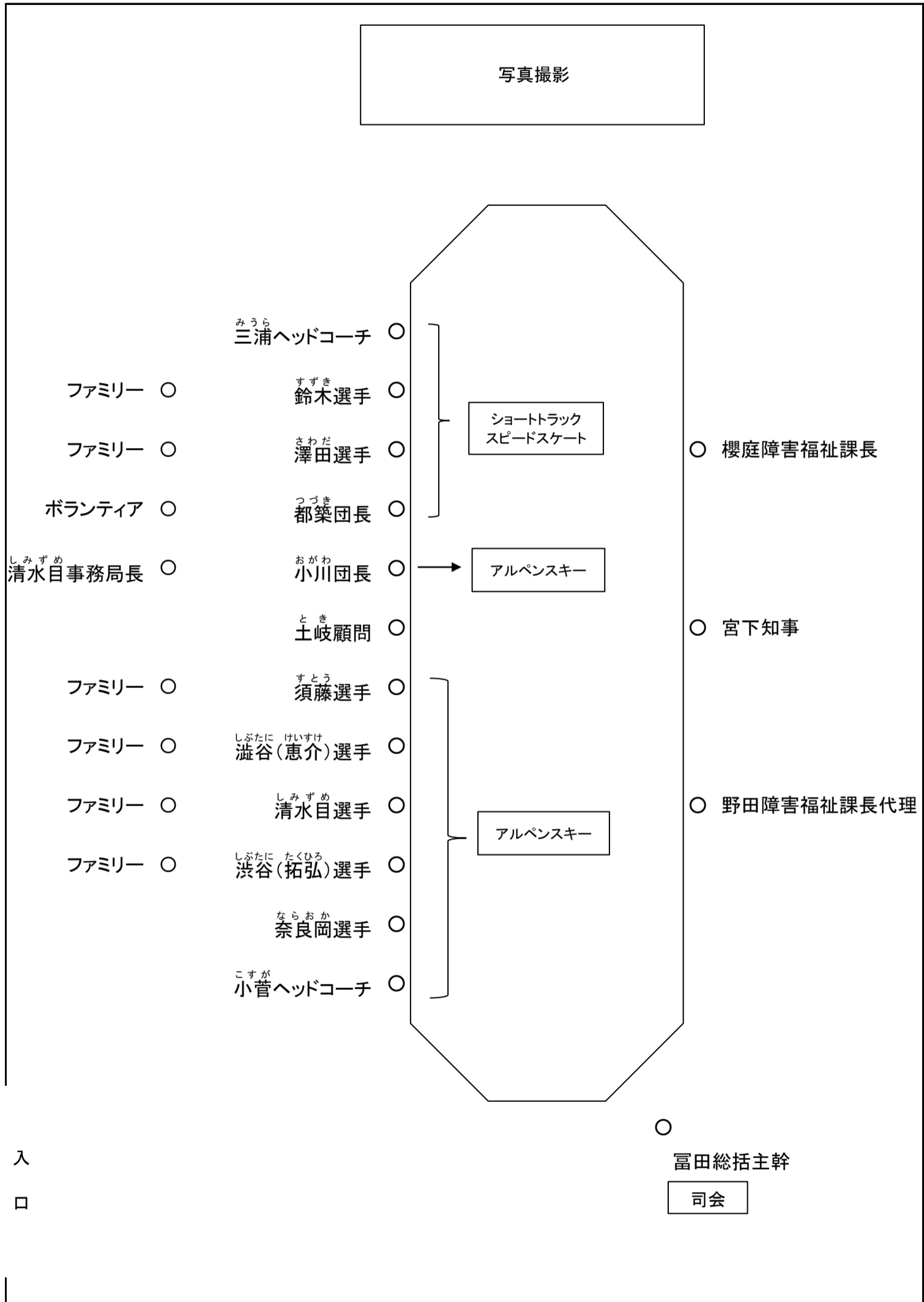
	競技	区分	エントリー種目	氏名	ふりがな	性別	備考	
1	アルペンスキー	顧問		土岐 司	とき つかさ	男		
2		団長		小川 誠司	おがわ せいじ	男		
3		ヘッドコーチ		小菅 園子	こすが そのこ	女		
4		コーチ		柴 祐子	しば ゆうこ	女	欠席	
5		アスリート	初級ジャイアントスラローム		須藤 由貴奈	すとう ゆきな	女	
6			中級ジャイアントスラローム		澁谷 恵介	しぶたに けいすけ	男	
7			中級ジャイアントスラローム		清水目 基	しみずめ もとき	男	
8			中級ジャイアントスラローム		渋谷 拓弘	しぶたに たくひろ	男	代表
9			中級ジャイアントスラローム		奈良岡 鉄平	ならおか てっぺい	男	
10	スピードストラック	団長		都築 一雄	つづき かずお	男		
11		ヘッドコーチ		三浦 清隆	みうら きよたか	男		
12		アスリート	500mレース		澤田 凜	さわだ りん	男	
13			333mレース		鈴木 翔	すずき つばさ	男	

同行者名簿

	競技	区分	氏名	備考
1	アルペンスキー	ボランティア	土岐 採子	
2		ファミリー	須藤 麻利子	
3		ファミリー	澁谷 里菜	
4		ファミリー	清水目 明美	事務局長
5		ファミリー	渋谷 みち子	
6		ファミリー	奈良岡 久子	
7	トラジャクト	ファミリー	浅田 住恵	
8		ファミリー	鈴木 梢	

2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム
青森県選手団表敬訪問会場席図

南棟2階第三応接室





2024年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム 大会開催概要

スペシャルオリンピックス日本では、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングの成果の発表の場であるナショナルゲームを夏季・冬季4年ごとに開催しており、次回冬季大会として、2024年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームを開催いたします。

なお、本大会は、2025年開催予定(開催地未定)のスペシャルオリンピックス冬季世界大会への日本選手団選考を兼ねて開催いたします。

- 大会名称: 2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム
(略称)スペシャルオリンピックス 2024 長野 / スペシャルオリンピックス 2024 北海道
- 開催日程: 2023年11月18日(土)~2024年2月25日(日)
2023年11月18日(土)、19日(日) ※選手団は11月17日(金)入り
(競技) フロアホッケー/フロアボール
(会場) ホワイトリング ※長野県長野市
2024年2月11日(日)、12日(月祝) ※選手団は2月10日(土)入り
(競技) アルペンスキー/スノーボード/クロスカントリースキー/スノーシューイング
(会場) 名寄ピヤシリスキー場 / なよろ健康の森 ※北海道名寄市
2024年2月24日(土)、25日(日) ※選手団は2月23日(金)入り
(競技) フィギュアスケート/ショートトラックスピードスケート
(会場) ビックハット ※長野県長野市
- 開催地: 長野県長野市/北海道名寄市 ※分散開催
- 参加規模(見込み): 9,000名
- アスリート / 530名 - パートナー / 40名 - 役員・コーチ / 430名
- 大会役員・審判 / 300名 - ボランティア / 700名 - 観客 / 延べ7,000名
- 実施競技: 8競技
雪上競技: アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング
氷上競技: フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート
フロア競技: フロアホッケー、フロアボール
- 主催: 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
- 運営: 2024年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム 大会実施委員会
- 特別協力: 公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・長野
特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・北海道
- 後援(予定): スポーツ庁、厚生労働省、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、
(公財)日本パラスポーツ協会、(公社)日本医師会、他



■ スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックス日本(SON)は、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックス日本は、スペシャルオリンピックス国際本部より国内本部組織として認証を受け、日本国内での活動を推進しています。

■ スペシャルオリンピックスの特徴

ディビジョニング： スペシャルオリンピックスの競技会・大会では、可能な限り同程度の競技能力のアスリート同士で競技できるように、性別、年齢、競技能力などによってグループ分け(ディビジョニング)を行います。このディビジョニングによって、能力を十分に発揮できると考えています。

全員表彰： スペシャルオリンピックスの競技会・大会に参加した全てのアスリート(失格等を除く)が表彰台に上がり、全てのアスリートに、メダルやリボンがかけられます。順位だけでなく、競技場に立ち最後まで競技をやり終えた事に対して、一人一人にかわらぬ栄誉が贈られます。

■ スペシャルオリンピックス日本ナショナルゲームについて

地域での日常のスポーツトレーニングの成果を発表する場として、4年に1度、夏季・冬季のナショナルゲーム(全国大会)を開催しています。

開催年	開催地	競技数	参加地区数	参加者数
1995年	熊本	5競技		アスリート137名 / コーチ他64名
1996年	宮城 福岡	1競技		アスリート34名 / コーチ他17名
		2競技		アスリート45名 / コーチ他21名
1998年	神奈川	8競技		アスリート194名 / コーチ他134名
2000年	長野	3競技		アスリート121名 / コーチ他81名
2002年	東京	11競技	21地区、2設準 ※海外4カ国	アスリート816名 / コーチ他546名
2004年	長野	7競技		アスリート620名 / コーチ他393名
2006年	熊本	12競技	32地区、8設準	アスリート1016名 / コーチ他560名
2008年	山形	7競技	29地区、3設準	アスリート533名 / コーチ他330名
2010年	大阪	12競技	38地区、8設準	アスリート1042名 / コーチ他591名
2012年	福島	7競技	31地区、2設準	アスリート574名 / コーチ他320名
2014年	福岡	12競技	42地区、5設準	アスリート975名 / コーチ他593名
2016年	新潟	7競技	31地区	アスリート614名 / コーチ他329名
2018年	愛知	13競技	47地区	アスリート996名 / コーチ他606
2020年	北海道	7競技	37地区	アスリート616名 / コーチ他341名 ※中止
2022年	広島	12競技	47地区	アスリート・パートナー 826名 / コーチ他482名

※設準…設立準備委員会のこと ※2020年大会は新型コロナウイルスの影響により中止

■ スペシャルオリンピックス日本 オフィシャルスポンサー(2022年時点)


TOYOTA
AOI Pro.
BA

LifeWear



三井住友海上


ThreeBond

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

TEL: 03-6809-2034 / FAX: 03-3436-3666 / E-mail: tokyo_office@son.or.jp